

卒業生・修了生の皆さんへのメッセージ

システム科学技術学部226名、生物資源科学部152名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学院システム科学技術研究科及び生物資源科学研究科において、修士・博士の学位を得られた80名の皆さんの修了を心からお祝い申し上げます。また、本日は新型コロナウイルス感染防止の観点からご出席いただけなかったご家族の皆様にも、大学を代表して心からお喜びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大で、今年度は様々な行事が異例の対応となりました。この卒業式もそうです。本来であれば、本学の講堂でご来賓をお迎えし、盛大に卒業式・修了式を執り行い、ご家族の皆様とともにお祝いするはずでしたが、それがかなわなくなりました。大変残念なことですが、感染防止のためにシステム科学技術学部、生物資源科学部それぞれ個別に式典を行うこととしました。

さて、本日卒業ないし修了される皆さんは、これから社会人あるいは大学院生として、様々な分野で活躍されることとなりますが、それぞれの心構えについて触れたいと思います。

まず、はじめにお伝えしたいことは、新型コロナウイルス感染によって私たちの暮らし、社会のシステムが大きく変わるということです。コロナ感染防止の観点からごく当たり前であった対面での会話が大きく制限されています。そのため情報通信機器を使ってのリモート会話が多く取り入れられています。皆さんがこれから働く職場でもリモートワークが行われる可能性が高いと思います。ここで最も重要なことは、相手の話を理解すると共に自分が言いたいことを要領よくまとめ、手短かに話ができるスキルが求められることです。ちょっとしたことですが、仕事の重要な基本になると思います。どうすればうまく会話ができるかですが、あまり心配する必要はありません。学長特別講義でも話しましたが、相手の話を理解するためには、話している言葉だけではなく、どうしてそのような発言をするのか、その背後にある思いをくみ取ることが大切です。そして、自分の考えを述べる時、一番言いたいことを先に言います。賛成か、反対か、あるいは自分の考えている提案、意見を述べます。そしてその理由をその後付け加えます。これらが少しでもできれば合格です。意識して何度も訓練することが必要です。

企業等に入社される皆さんは、今までとは全く違う環境に身を置くこととなりますので、焦らずじっくりと新しい環境に慣れていくことが大事です。まずは、生活のリズムをしっかり作るように心がけてください。慣れるまで大変ですが、徐々に慣れてきます。会社は皆さんの態度に注目しています。そのポイントは二つあります。一つは、気持ちの切り替えがきちんとできているか、もう一つは、前向きな態度で仕事に取り組もうとしているかです。焦る必要はありません。分からないことは遠慮せず周りの人に聞いてください。皆さん親切に教えてくれるはずですよ。一つ一つできるようになったことに感動しながら少しずつ仕事を覚えてください。皆さんに是非心に留めておいて欲しい事を一つ述べておきます。それは様々な課題、問題があった場合、その解決に向け是非チャレンジしてほしいということです。私は、行動の原点は「勇気を持つこと」だと思っています。勇気は、鍛えて獲得できるものではありません。心構えの問題です。その秘訣は物事を楽観的に捉え、「やってみなければ分からない。」と自分に言い聞かせ、まず第一歩を踏み出すことです。しかし、必ずしもうまくいくとは限りません。その場合は周りの人の力も借りてその対策を考え、少しでもうまく行くように修正し、次のステップに向かいます。そして、その繰り返しによって、今まで見えなかったものが見えるようになり、課題解決に向け前進できます。この経験、実感は皆さんの自信に繋がります。自信がつくと最初に述べた第一歩を踏み出す勇気の意味が分かってきます。皆さんには是非この感覚をこれからの仕事の中で身につけてほしいと願っています。また、うまく修正できるようになるた

めには、専門的知識を増やし、課題解決に向けてのアイデアをたくさん持つ必要があります。これが皆さんを強く、価値のある人間に成長させます。

一方、大学院へ進学する皆さんは、これからより高度な研究を行うこととなります。研究には当然未知な部分があり、高いハードルが隠れています。それをどう乗り越えるか、その方法論を学ぶことが最大の目的です。乗り越え方は様々ですが、原動力はその研究に魅力を感じていることです。新しい発見をしたい、現象のメカニズムを明らかにしたい等様々です。しかし、これもそう単純ではありません。研究対象はまだ掴み所がなかったり、ぼやっとしていたりして、そもそもターゲットが明確でないケースが殆どです。山を麓から眺めているだけでは、ルートは見つからないし、その険しさも分かりません。まずは、山の麓を歩きながら少しずつ上る道を探していかなければなりません。研究は、緻密な努力の積み重ねによって一步一步前に進んでいきます。それに耐える体力、心構えを大学院で学んでほしいと期待しています。

さて、これから皆さんが働く社会の変化についてお話しておきたいと思います。Society 5.0 という言葉を何度か耳にしたことがあると思います。Society 5.0とは、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)のことと定義されています。つまり、Society 5.0で実現する社会では、IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、イノベーションにより、今までにない新たな価値が生み出されることで、ビジネスの世界が大きく変わることが予想されています。また、人工知能(AI)により、様々なビッグデータから必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術と組み合わせ、少子高齢化、地方の過疎化などの課題が克服される事も期待されています。ビッグデータの集積や人工知能(AI)の進展は皆さんの仕事にも大きな影響を与えます。マニュアルに従って行う仕事、自分の経験知で判断して行う仕事は、AIに取って代わります。皆さんにはもっと創造性の高い仕事が求められます。本学で学んだ問題を発見し自ら解決できる能力と経験が役に立つはずで、創造性を高めるためには、すべての仕組みや行動において、何故と何度も問いかけ、その本質を見極め、そしてそこから新たな課題を抽出し、解決するための方法を見つけ出す手法を身に付ける事が重要です。従って、これから活躍される皆さんにとっては、この考え方がもっとも大事だということを心に留め、このセンスを磨いてほしいと切に願います。

次に、学び直しについて一言述べておきます。皆さんが企業に就職したとしても10年後には皆さんが勉強した技術は陳腐化し、また人工知能の普及により、仕事の質が変わることが想像されます。一方企業の戦略に基づきビジネス内容の変更や統廃合により、必要となる知識が変わって来ることも考えられます。この結果学び直しが必要となる機会が増えて来ると思われます。つまり、これからは常に勉強し続けなければならないこととなります。まず、そこをしっかりと認識することが大事です。そして、より早く何を学ぶべきかその対応策を考えるべきです。大学は皆さんの要望に応えるために、学び直しの場を提供することが不可欠となります。コロナによって遠隔授業が日常的に取り入れられてきています。この結果、社会人教育は大きく変わっていくと考えます。本学においてもこの社会人教育が大きな特徴になるようカリキュラム体型を仕上げていくつもりです。本学では皆さんが必要な時にはいつでも本学教育サイトから勉強できる仕組みを構築していきますので、気軽に利用して下さい。私たちはいつでも皆さんをサポートします。

最後に、県外に出られる皆さんは、周りの皆さんに秋田の良さを宣伝して頂くと共に、なるべく多くの機会を作ってまた秋田にお出でください。卒業、修了される皆さんが健康に留意され、それぞれの環境の中で成長し、活躍される事を祈念し、学長の告辞とします。

令和3年3月23日

秋田県立大学 学長 小林 淳一